



# ゴロスケ報々



## ●はじめての ちいさなしぜんかんさつ会●═══════════ 友の会行事のお知らせ

春、いろいろないきものたちが動きだします。いきものたちとの出会いを親子でいっしょに楽しみましょう。ほんもののおたまじゃくし・ほんものすみれにふれ、ほんもの自然にかこまれて、こどもたちが感じたことに耳をかたむけてみませんか。

日時：2013年3月24日（日）小雨決行（大雨の場合は、翌週3月30日（土））

午前の部：10：30-12：00、午後の部：13：30-15：00（2回とも同じコースです）

場所：横浜自然観察の森

対象：3才～小学校低学年と保護者 40名（午前・午後20名ずつ、希望者多数の場合は抽選）

申込：3月16日までに、下記の FAX かメールで「はじめてのちいさなしぜんかんさつ会」担当宛に、参加者のお名前、人数、お子さんの年齢、午前か午後か、連絡先の電話番号・あれば FAX 番号とメールアドレス、をお知らせ下さい。18日までにご連絡いたします。

FAX：045-894-8892

メール：kansatsunomori\_tomo@yahoo.co.jp

問合せ：上記 FAX またはメールアドレスへ。

主催：横浜自然観察の森友の会事務局「はじめてのちいさなしぜんかんさつ会」担当

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

# 事務局からのお知らせ

## ●1月定例会報告●

H25. 1. 20 (日) 13:05~14:50

出席者 山口、中里、片岡 (議長)、青木、村松、落合、漆原、大越、鈴木、大浦、関根 (書記)、森R、古南R

1. 行事、各PJと事務局内の調査グループの活動報告、活動予定の確認をしました。
2. ごろすけ館の利用予定を確認しました。
3. ゴロ報2月号の内容、記事の分担をしました。

### 4. センターより

・森ボラの実績報告 (12月まで)

森ボラ参加のきっかけ (36名中)

センター&友の会のホームページ	10名
友人から聞いて	9名
レンジャーから聞いて	6名
広報よこはまを見て	5名
ちらしを見て	3名
メールマガジンを見て	2名
新聞を見て	1名

・園内工事を行っています。(3月15日まで)

<次回の定例会>

日時 3月17日 (日) 13:00~

場所 自然観察センター研修室

定例会終了後、保安全管理計画検討会があります。(15:00~)

定例会も保安全管理計画検討会も、友の会会員はみなさん参加できます。

## ●1月理事会報告●

日時 2013年1月20日 (日) 9:30~12:15

出席者 青木、漆原、大越、大浦、落合、片岡、志釜、関根、中里、村松、山口 (議長)、古南R、森R、(欠席:秋元、小杉、篠原、中塚、藤田)

議題

### 1 次期中期計画・次年度事業計画

・2013~2015年度中期計画を定めました。

[1]情報発信を充実させます。(ボランティア活動拠点「ごろすけ館」の活用など)

[2]保安全管理計画を活かします。

・行事計画・PJ計画 (一覧確認。ゴロスケカフェ登載、森ボラ各回担当PJを決定。)

・会計 (各PJ予算提出状況、行事保険項目を確認。現年度執行〆切2月末、次回に予算案確定。)

### 2 定期総会準備

・理事監事再任変更や議長について確認しました。

### 3 利用推進会議

・議題・出欠について確認しました。

### 4 安全管理

・1/14大雪 (25cm) は人的被害なし。今後は園内雪情報をメールリストで提供する。

・ZFC作業基準書 (伐木) 一部改訂 (チェンソー講習受講者要件) について意見交換。

### 5 その他

・森ボラの運営マニュアル案を確認しました。

・入会案内資料の改訂案を確認しました。

<次回の理事会>

日時 3月17日 (日) 9:30~12:00

場所 自然観察センター研修室

議題 1 定期総会準備

2 安全管理

3 その他

## てのひらおんどけい

私が観察の森に来たのは20年以上前、失われていく横浜の緑を守りたい、という気持ちからでした。意欲だけでは何もできない、守るためには知識が必要、技術が必要、仲間が必要であることを学びました。当時の観察の森の行事は、環境保全ボランティアを育成するための様々なプログラムを用意していました。そして提言にはデータの裏付けが必要であることも学びました。横浜市民には環境保全の意識が浸透してきているように思えますが、自宅の周りでは今でも小さな緑地が消滅していますよ。

今私は観察の森や瀬上の森で定期的に植物調査をしています。調査をしていると、ここで何かしないとなくなっちゃうよね、という部分が見えてきて、保護作業をする。増えるものもあるし保護してもなくなってしまうものもあるのね。植物の調査をする前は鳥のルートセンサス調査をしていました。耳が聞こえなくなってきたので鳥の調査は辞めました。鳥でも植物でも私より詳しい人はたくさんいるのに、見るのは楽しいけど調査は嫌って言う人結構多いよね。

浜口さんの本「生きもの地図が語る街の自然」を読んでみてください。定期的に生きものを数えて地図に落として行くと、そこから環境の変化が見えてくるの。はじめて浜口さんの探鳥会に参加した時、カラスは何年生きるのですか？という質問に、野生の状態では調べられていません、飼育された個体が××年生きた記録があります、という風に答えるのを聞いて、ああデータの裏付けのある話には説得力があるなと感じました。あんなことこんなこと最終的に浜口さんに相談すればなんとかなる、と安心して活動していたので、2010年5月に浜口さんが亡くなった時は突っかい棒をはずされたみたい。ぼんやりうろうろしていましたよ。そんな時本屋さんの児童書のコーナーから懐かしい暖かいものが感じられたの。福音館の幼児絵本の背中に浜口哲一と書いてあったの。浜口さんがぶんを書いて、杉田比呂美さんがえを書いている「てのひらおんどけい」という絵本でした。ちっちゃい子がいろんな所を触って、こっちはつめたい、こっちはあったかいとを感じる本なの。目で耳で受け入れていた世界を手のひらで受け止めるんだね。それから鼻でも舌でも。世界はいろんなもので満ち溢れているんだということを忘れないようにしようね。

篠原由紀子



## 事務局からのお知らせ

### ●友の会の理事、事務局お手伝いを募集しています！●

- 4月の総会に向けて、次年度から理事に加わっていただける会員を募集します。
- 定例会や交流行事準備など事務局をお手伝いしてくれるボランティアを募集しています。

<新入会員・初心者歓迎！>

皆が楽しく集える行事のお手伝いなどから気軽に活動を始めてみませんか？

これまでに学生等でも理事として活躍した例があります。無理のない範囲の参加でOK、どなたでも大丈夫です。

理事の会員公募枠（3名以内）は広く推薦・立候補を募集しています。

<学習機会やボランティア事始めなどとしても最適！>

何かと役立つグループ運営の実践や自主研修、ボランティア活動のきっかけとして、フィールドの魅力にも支えられながら気軽に参加・体験いただけます。

理事は会員公募枠の他に、事務局枠（5名）、PJ枠（各PJ 1名ずつ）もあります。詳しくは事務局メンバーや各PJへもご相談ください。

<緊急募集！>

#### ◎ホームページ担当

最新情報はPJ等各自がブログで随時更新してくれるので、隔月でゴロ報の行事予定ページ等を掲載する作業をしてくれる方を募集しています。もちろん余力があればページのリニューアルなどにチャレンジいただくこともできます。

#### ◎ネットワーク担当補助

いるか丘陵や小網代などでのネットワークイベントへの参加を担当します。イベントはメーリングリスト等での募集に応じて会員が参加しています。多くの会員の参加でネットワークの輪を広げましょう！

#### ◎会計担当補助

支出（清算）は原則として2ヶ月に1回の会議のときとするなど、担当者に合わせたペースでOK。入金（振込）管理については会員名簿管理担当や事務局メンバーと相談しながらできて安心です。

#### ◎事務局ボランティア（事務局員）

主要な事務（会計・会員管理・編集・定例会・書記・渉外（ネットワーク）など）は担当理事制で役割分担しているため、行事・会議のお手伝いが中心となります。まずは定例会への参加や恒例の交流行事の準備などから始めてみてはいかがでしょうか。

<皆様の参加をお待ちしています！>

詳しい役割分担については4月総会后最初の理事会で調整・決定します。

多くの方に少しずつご協力いただけると、1人1人の役目がわかりやすくなって実行しやすくなります。

理事・担当の希望者は3月理事会（3月17日）の前までに今年度理事又は事務局へご連絡ください。

## ●<定例活動の報告>鳥のくらし発見隊●

今シーズンの観察の森は、冬の鳥で大にぎわい！！

昨冬は冬の鳥がとっても少なかったんです。それにひきかえ、今シーズンは種類も数も多く見られます。

12月の「みんなでバードウォッチング」、1月のセンター主催の「にぎわいの森をあるくバードウォッチング」ではノスリ、アカゲラ、モズ、ルリビタキ、ジョウビタキ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、クイタダキ、ヒガラ、アオジ、クロジ、ウソ、シメなど冬の鳥が勢揃いしています。特にウソは、園内あちこちで必ずと言っていいほど観察することができます。またヒガラはセンターの記録では、25年ぶりの出現だそうです。クイタダキも観察の森では珍しい鳥です。

また参加者も12月40名と「みんなでバードウォッチング」過去最高の人数。1月の「にぎわいの森あるくバードウォッチング」78名とこの10年では最高的人数でした。

さあ、まだまだ間に合います。あなたも冬の鳥に会いに、観察の森に足を運んでみませんか。

3月10日（日）9：00～ センター主催の「にぎわいの森をあるくバードウォッチング」

### <鳥の豆知識>

「冬の鳥」（冬に見られる鳥）は2つのグループに分けられます。

一つはツグミ、ジョウビタキ、シメ、シロハラなどは「冬鳥」（渡り鳥）と呼ばれ、秋に日本より北の地域から渡ってきて日本で冬を越し、春には北の地域へ帰って繁殖する鳥たち。

もう一つはルリビタキ、アカハラ、アオジ、ウソなどは「漂鳥（ひょうちょう）」と呼ばれ、日本国内の高地で繁殖し、冬に低地に下りてきて冬を越す鳥たちです。

（中里）

## ●森の交流会「望年会」の報告●

リニューアル後では初の望年会が「ごろすけ館」前で開催され、和やかに会員交流を図りました。

日時 12月23日（日・祝）10時～14時

参加者 会員30名 レンジャー6名 市環境創造局1名 計37名

- 内容
- ・フィールドへの1年間の感謝を込めて約90分のゴミ拾いハイキング
  - ・自然の恵みを受けて伝統文化継承と共同作業を実践するお餅つきとトン汁、焼き芋  
（瀬上さとやまもりの会から谷戸田の生きものに配慮した不耕起・冬期灌水・無農薬・有機肥料・土壌放射線確認済のもち米をご提供いただきました。）
  - ・各PJ等のミニ活動紹介（展示・紙芝居パネル使用）

## 事務局からのお知らせ

### ●第25回定期総会のお知らせ●

自然観察センターのリニューアルから約1年、友の会のボランティア活動拠点にも「ごろすけ館」の愛称が付き、行事、展示や来園者とのコミュニケーションの場として活用されています。

2013年度はこの「ごろすけ館」を活用した情報発信や、2012年度に一部見直しをした園内の保安全管理計画を活かしていく活動を予定しています。会員の皆様のご参加・ご提案をお待ちしています。

日時 2013年4月7日（日）10：00～12：00

場所 自然観察センター研修室

- 議案
- ・2012年度事業報告・決算報告
  - ・2013年度事業計画・予算
  - ・理事監事の選任
  - ・その他

◆終了後、希望者に「森の説明会」を開催します。観察の森の役割、友の会の活動案内、園内のルールなどを30分程度でお話しします（隔月で開催している“森を守るボランティア体験（森ボラ）”のオリエンテーション部分）。森ボラに未だ参加していない会員の方は、この機会にぜひご参加ください。

# Y N S 2

YOKOHAMA NATURE SANCTUARY News

横浜自然観察の森・自然観察センターだより

2013年 2月号

## 横浜自然観察の森園内整備工事について

自然観察センターの改修に続いて、野外施設の補修工事も始まりました。今年度は以下の工事が行なわれます。

### 1. 階段の補修 (2カ所)

- ・タンポポの道③～④の間。(取替え)
- ・ヘイケボタルの湿地からウグイスの草地に下る、シラン原生地の脇。(不足している段の追加)

### 2. トレイル脇の柵のとりかえ (3カ所)

- ・コナラの道：尾根道、⑮と⑯付近の2カ所 (2/8 現在工事終了)
- ・ミズキの道：⑦付近

### 3. 野外卓とベンチの設置 (野外卓は、自然観察センター前の広場にあるのと同じ擬木製のテーブルとベンチのセットです)

- ・ノギクの広場：野外卓1基
- ・ミズキの道コナラの道⑥分岐点 (下記記事の場所)：野外卓1基、ベンチ2基
- ・ミズスマシの池：野外卓2基

工事の期間は3月15日まで、平日と土曜日に行います。場所により、施工当日などに通行制限を行なう見込みです。また騒音が発生する場合があります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をいただければ幸いです。できるだけ自然環境にインパクトを与えないよう、市とレンジャーが協議しながら進めていますが、お気づきの点があればレンジャーまでお知らせください。

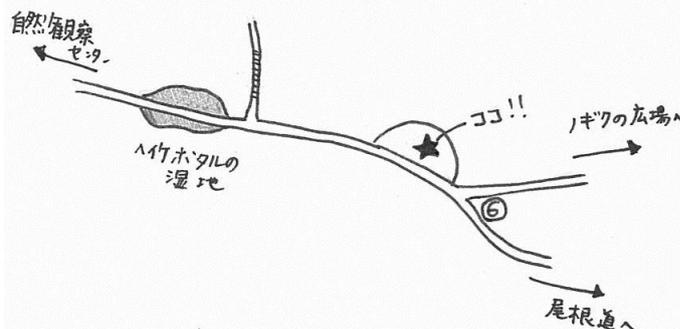
なおこの先何年かで、トレイルの補修、野外トイレや野外展示板の補修も順次、実施していく予定とのことで、検討を行なっています。

(チーフレンジャー：古南幸弘)

## 広場の『名称募集中』です♪

横浜本来の樹木を育てていくために、人の手によって植えられた園芸樹木(八重桜)を伐採しました。場所は、ミズキの道・コナラの道⑥番付近で、これから広場として利用できるようテーブルやベンチを設置し、皆様に親しんでいただく予定です。現在この場所の名前がないため、

「広場の名称」を募集しています。愛称として呼んでいけるよう、友の会の皆様から沢山のアイデアをお待ちしております！



★印の広場の名前を募集中です！

募集期間：2013年3月末まで

メール・FAX・直接センターにてお声かけください♪

E-mail：[mori-h@wbsj.org](mailto:mori-h@wbsj.org) (レンジャー 森初恵まで)

今年のヤマアカガエルの産卵 新着情報!



今年も観察の森の湿地ではヤマアカガエルの産卵が始まりました！  
雨が降り、暖かった2月2日の朝に、ハイケボタルの湿地で鳴いている所を確認♪  
午後には53個の卵塊が確認されました。

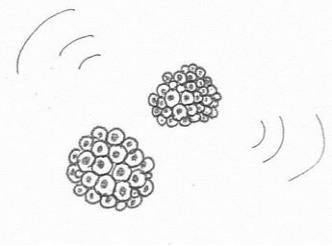
過去4年間で、卵塊が見つかった最初の日（初認日）です。

2009年：1月24日

2010年：1月24日

2011年：2月13日

2012年：2月11日



この卵塊調査は、友の会の「カエル調査隊」の皆様が実施してくれています。  
1月末～4月までの間、2週間に1回ほどのペースで観察の森の水辺を巡回し卵塊をカウント  
していく調査です。  
今年の2月2日は、ちょうど調査の日！ヤマアカガエルたちが卵を産んでいるところに  
出会い思わず微笑んでしまう一日でした♪  
2月末にはおたまじゃくしで「にぎわい」のある湿地に！是非会いにきてくださいね。



ホランシアさん ありがとう

\*\*\* 12/3～2/8の間\*\*\*



- 12/23 友の会望年会にご参加の皆様 センター鏡餅の提供
- 12/23 雑木林ファンクラブのみなさま お正月飾りの提供
- 1/13 鳥のくらし発見隊のみなさま 「にぎわいの森を歩くバードウォッチング」へのご協力
- 1/13 漆原弘光さん「いきものを守るシリーズ」へのご協力
- 1/15 藤田剛さん・藤田薫さん・篠原由紀子さん 保全管理計画ヒアリングへのご協力
- 1/19 平野貞雄さん 保全管理計画ヒアリングに伴うご協力
- 1/20 友の会のみなさま 保全管理計画検討会への参加
- 1/25 カワセミファンクラブ 大浦晴壽さん 展示用野鳥のDVDの提供
- 1/26 雑木林ファンクラブのみなさま 薪ストーブ用の薪の提供
- 1/26 雑木林ファンクラブのみなさま 雪による倒木処理のご協力
- 1/26 雑木林ファンクラブ 村松旭さん 展示用の棚作成のご協力
- 2/6 雑木林ファンクラブ 大越哲朗さん 薪入れ用のかご作成のご協力
- 12-2月 カワセミファンクラブのみなさま 野鳥写真の提供
- 1-2月 野草の調査と保護グループのみなさま 草刈に伴う植物の相談

作成：もり はつえ

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

～いきもののにぎわいのある森ブログも掲載中～

# 行事スケジュール 2月～4月

■：センター行事  
●：友の会行事  
★：共催行事

## ●季節行事●

●はじめての ちいさなしぜんかんさつ会  
→1ページ参照  
3/24 (日)  
小雨決行、大雨なら3/30 (土)に延期  
午前の部：10:30～12:00  
午後の部：13:30～15:00  
場所：横浜自然観察の森  
対象：3才～小学校低学年と保護者 40名  
(午前・午後20名ずつ、希望者多数の場合は抽選)  
申込：3月16日まで(1ページ参照)  
担当：事務局

●第25回定期総会 →5ページ参照  
4/7 (日) 10:00～12:00  
場所：自然観察センター研修室  
議案：  
・2012年度事業報告・決算報告  
・2013年度事業計画・予算  
・理事監事の選任  
・その他  
担当：事務局

◆終了後、希望者に「森の説明会」を開催します。  
森ボラに未だ参加していない会員の方は、この機会  
にぜひご参加ください。



■にぎわいの森を歩くバードウォッチング  
日時：3月10日(日) 9:00～13:00  
雨天決行(室内でのお話になります)。  
対象：どなたでも！初心者歓迎  
内容：ウグイスのさえずりを聞きながら森を歩きま  
せんか？日本野鳥の会神奈川支部リーダーが  
ご案内。初心者・家族連れでも楽しめます。  
申込：なし(当日直接センターへ)  
持ち物：お弁当・飲み物・あれば双眼鏡と図鑑(貸  
し出し可。ただし数に限りがあります。)  
担当：自然観察センター

## ●定例行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜  
～友の会の目的や活動内容の紹介とルールを～  
4/21 (日) 9:30～12:30  
受付：直接、自然観察センターの研修室へ  
対象：どなたでも 雨天催行  
\*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)  
～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～  
3/3 (日)・4/7 (日)  
1回目 11:00～ 2回目 13:00～  
受付：30分前から 自然観察センター前にて  
対象：どなたでも  
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)  
～のんびり楽しむバードウォッチング～  
4/14 (日)  
9:00～13:00 雨天中止  
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも  
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう  
～自然をテーマにした絵本づくり～  
3/20 (水)・4/17 (水)  
10:00～12:00 絵本製作  
受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも  
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)  
～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～  
2/23 (土)・3/23 (土)・4/27 (土)  
1回目 13:00～ 2回目 14:00～  
受付：30分前から 自然観察センター前にて  
対象：子どもから大人までどなたでも  
担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜

発行日 2013年2月17日  
発行 〒247-0013  
横浜市栄区上郷町 1562-1  
横浜自然観察の森友の会  
電話 045-894-7474 FAX 045-894-8892  
郵便振替 00240-1-59172  
年会費 大人 2000円 小中学生 600円  
[http://www.geocities.jp/yns\\_tomo/](http://www.geocities.jp/yns_tomo/)  
E-mail:yns\_jimu@yahoo.co.jp

【この会報は、友の会ボランティアによって作られています】 《全頁無断転載を禁じます》  
次回：定例会3/17(日)、原稿締切3/23(土)、発送4/21(日)(発送担当：畑プロジェクト)